

第113号  
進学特集

# 藤枝明誠ニュース

FUJIEDA MEISEI News

発行 学校法人 藤枝学園 藤枝明誠中学校・高等学校 渉外課広報担当 / Tel 054-635-8155 / Fax 054-635-8494 / Email meisei@fgmeisei.ed.jp / URL https://www.fgmeisei.ed.jp

6月9日、10日に本校の文化祭である『青藍祭』が開催された。計53団体が参加した本年度は、模擬店、展示、ステージ発表それぞれの団体が切磋琢磨し、明誠生全員で最高の文化祭を作り上げた。今回は

## 想い受け継ぎ、再出発！

「Start Up」をテーマとして青藍祭が行われた。何年もの間、見えない敵により学校行事が制限され、思い描いていた理想の青藍祭をおこなうことができなかった。今年は規制が緩和されたことにより、マ

スクの着用義務がなくなり一人一人の笑顔が見えた。明誠生らしい勢いのある盛り上がりをもって、学校全体で前に進んでいくという思いがこのテーマには込められている。

開も制限をかけて行ったが、今年は制限をかけず、小さなお子様から高齢者の方まで幅広く来校してもらえよう。駅や近隣のお店に協力していただきポスターを貼って宣伝をした。その結果、明誠史上最多の1947名の方が来校され

ステージ発表も体育館が観客で埋め尽くされ、生徒たちの底力を感じることができた。普段の学校生活では見られない才能を発揮した場ともなり、多くの生徒が楽しめた青藍祭になった。残りの行事もまた明誠一丸となって成功させたい。(生徒会担当 有野直樹)

令和5年度6月9日(金)・10日(土)開催！  
テーマ「Start Up!!」



私たちはこの数年、コロナウィルスの影響で青藍祭の中止や縮小という経験をしました。そのため、今年こそはと意気込んで青藍祭

に向けての活動を進めてきました。規制の緩和により一般公開の実施、高校3年生の模擬店の商品は調理が許可され、本来の明誠の伝統を取り戻せる兆しが見え

てきました。生徒会はその今年の青藍祭のテーマを「Start Up」としました。このテーマには、明誠生が自分たちの色を全開にし、コロナウィルスで止まってしまった伝統のリスタートをしようという意図が込められています。終日準備、当日ともに生徒の笑顔や、より良いものを作ろうと励む姿がクラスの一体感を生んでいました。このクラスの雰囲気や学校全体を気づけ、他校の生徒や一般のお客様も巻き込んだ盛り上がりにもつながりました。これは明誠の新たな伝統になりうると思っています。また、青藍祭が終わる、在校生や他校の生徒から「楽しかった」「また行きたい」などといった感想をいただく、より良い学校行事を作るためには皆さんの協力が不可欠であることを再認識しました。生徒の皆さん、先生方、生徒会へのご協力ありがとうございます。これからも宜しくお願いします。



今年から感染症による規制が緩和されマスクの着用義務がなくなりました。一人一人の笑顔が見える従来の青藍祭を再スタート

できたこと、とても嬉しく思います。協力してくださった先生方、生徒の皆さん、地域の方々、そして来校してくだ

さった保護者の方々、最後まで支えてくださった生徒会顧問の先生方、生徒会の皆さん、本当にありがとうございました。青藍祭を盛り上げるために、まず生徒会では感染症対策の制限をなくすとともに、これまでの反省を生かし、再出発に向けて更なる取り組みをおこなってまいりました。ピクチャートではコロナ禍で諦めたことや、これからやりたいことに挑戦し成功させようという願いを込めました。モチーフには、この青藍祭を「成功」に導くためにベガサスを選び、全校生徒一人一人の夢を大きな一つの作品に仕上げました。また、オープニングとエンディングセレモニーは、全校生徒が一体となり、団結力を肌で感じられた時間になったと思います。大きな盛り上がりを見せた今年。ことを新たな一歩としてこれからも明誠の伝統を築き、継承していくてほしいと思います。









## 第34回 吹奏楽部定期演奏会 6月17日(土)・18日(日)開催！ 2日間で約1,500人の観客を魅了

今年、定期演奏会開催にあたって、インターネットを使った広報活動に力を入れました。SNSを利用して普段の練習の様子や部員が撮影した動画を投稿したり、ネットでチケットを申し込めるようにしたりと工夫をしました。特に、定期演奏会開催までのカウントダウン動画は、

インターネットで広まったと6つなぐ

先日、藤枝明誠吹奏楽部は第34回定期演奏会を開催することができました。私にとって定期演奏会は、明誠に入ろうと思ったきっかけの1つであり、憧れであり、そして高校生活の大きな目標でした。今回の定期演奏会を成功させるため、従来の演奏に加え、某テレビ番組を彷彿とさせる進行や、映像にてパ-

37 HR 伊藤 優聖  
(菊川市立菊川東中出身)

音楽の魅力は次の世代へ

ト紹介をおこなうなど、3年生を中心に新しいことを考え挑戦しました。不慣れた部分もあり準備に時間を要しましたが、全員で協力して作り上げることができました。結果、家族や友人だけでなく、他校の先生方や一般のお客様からも良い反響をいただくことができました。中でも一番嬉しかったのは、小・中学生からの「楽しかった」という言葉を聞けたことです。自分が感じた音楽の魅力を伝えることができてよかったです。支えてくれた方々、そしてご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

各学年、楽器パートが力を入れて制作しました。中にはユーモア溢れる動画もあり、SNSを盛り上げました。その結果、他県からの申し込みもいただき、総来場者数は過去最高に迫るものとなりました。

このように今年の定期演奏会を成功させることができたのは、沢山の方々からの応援があったからこそです。協力していただいた皆様には、部員一同心より感謝しています。ありがとうございました。そして、これからも藤枝明誠吹奏楽部の応援を宜しくお願いします。

38 HR 齊藤 寛太  
(藤枝市立大洲中出身)

音楽の魅力は次の世代へ

とができた理由は、相手チームより自分たちがやりたいことをコート上で多く、そして長く表現できたからだだと思います。しかし、同時に多くの改善点も見つかりました。特にチームとして修正しなければいけないのはコミュニケーションだと考えています。この点を含めた改善点を修正することができれば、日本一になることが叶うと思います。そして、日本一を成し遂げると同時に、私たちは藤枝明誠高校バスケットボール部に関わる全ての方々に希望と感動を届けていかなければなりません。東海大会の優勝はあくまでも通過点、ここで満足せずこれから努力し続けていきます。1戦1戦チャレンジャー精神を持ち、アグレッシブなプレーで日本一を成し遂げます。今後も応援を宜しくお願いします。

## 「日本一」になるために！



勢いそのままに東海大会も制した



県大会の決勝は31点差をつけての快勝



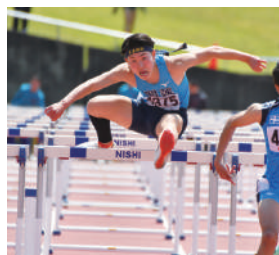
とができた理由は、相手チームより自分たちがやりたいことをコート上で多く、そして長く表現できたからだだと思います。しかし、同時に多くの改善点も見つかりました。特にチームとして修正しなければいけないのはコミュニケーションだと考えています。この点を含めた改善点を修正することができれば、日本一になることが叶うと思います。そして、日本一を成し遂げると同時に、私たちは藤枝明誠高校バスケットボール部に関わる全ての方々に希望と感動を届けていかなければなりません。東海大会の優勝はあくまでも通過点、ここで満足せずこれから努力し続けていきます。1戦1戦チャレンジャー精神を持ち、アグレッシブなプレーで日本一を成し遂げます。今後も応援を宜しくお願いします。



5000m 第12位 木村隆晴



男子砲丸投 第8位 杉本紘一朗



八種競技 第6位 村松拓武

## 陸上部 第70回東海高等学校総合体育大会 心身ともに大きな飛躍

32 HR 村松 拓武  
(牧之原市立橋原中出身)

私は、6月16日〜18日にエコパでおこなわれた東海高校総体に八種競技で出場しました。八種競技は100m、400m、1500m、110mH走、走幅跳び、走高跳び、砲丸投げ、やり投げの走・跳・投の種目を2日間かけておこないます。結果は6位でした。皆さんの応援がとても力になり大幅にベストを更新することができました。沢山の応援ありがとうございました。私にはキャプテンとして1年間チームを引っ張ってきました。その中で、仲間との大切さを何度も感じました。3年間、練習の思い出や沢山の仕事をしてくれたマネージャーにはとても感謝しています。先生も認める過去最高のマネージャーでした。目標にしていた全国大会への出場は決して簡単なことではありません。しかし、今まで東海大会にすら出場したことがなかった私が、藤枝明誠高校に入学してから2回も出場し、全国大会出場まであと1歩のところまで成長しました。この3年間は、人間力も競技力も大きく伸びたとても濃い時間でした。そして、私は秋に愛媛でおこなわれるU-18ジュニアオリンピックに出場し、表彰台に上がるよう努力を続けていきますので、これからも応援宜しくお願いします。

## チアリーディング部“Daisies” The 2023 World School Cheerleading Championships(米国・フロリダ州開催) INTERNATIONAL GAMEDAY部門 第1位



輝く笑顔で海外の観客も魅了した

この度は沢山の応援をありがとうございました。今年2月、私たちは世界大会に出場し、憧れたアメリカの舞台で部門優勝、そして全部門トータルランキング世界2位を獲得しました。他国の選手の溢れる熱量、迫力ある練習の様子そして演技から多くの刺激を受けました。改めて基礎の大切さを実感し、新たなスタート地点に立つことができました。この貴重な経験を自分たちの大会のみならず、他の部活動の活躍を少しでも後押しできる応援の力に変えることができるよう、がんばっていきます。

今後とも部員一同日々の努力を重ねて参りますので、これまで同様温かい応援やご支援を宜しくお願いします。

39 HR 片山 光姫  
(藤枝明誠中出身)

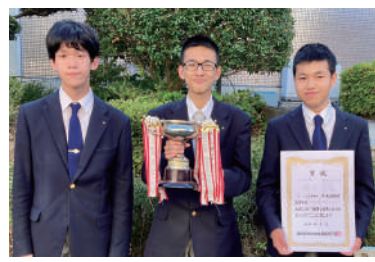


## 夢の舞台、感謝と希望を胸に

## 棋道部 第54回静岡県高等学校将棋選手権大会男子団体戦優勝 「全力」で「楽しむ」

310 HR 鈴木 元耀  
(藤枝明誠中出身)

5月21日に静岡県高等学校将棋選手権大会男子団体戦で優勝し、8月に鹿児島県で開催される全国大会への出場が決まりました。個人的には高校最後の大会だったことはもちろん、前日の個人戦では初戦敗退という悔しい結果に終わったこともあり、全国への切符に賭ける思いも特別でした。次はこれまでよりも更に強い相手との戦いになりませんが、持ち味を発揮して粘り強く戦えば勝ちチャンスは十分にあると思います。勝つための努力はもちろん、県内でたった1校にしか与えられない特別な機会を全力で楽しめるように、準備を怠らず、一日一日を大切にしていきたいです。1つでも多く勝てるよう



団体戦メンバー(左から鈴木颯史・鈴木元耀・原田孝太郎)

に、団体戦メンバーに限らず部全体で一丸となって取り組んでいきますので、応援宜しくお願いします。